

# 年頭にあたって



北海道保健福祉部長 高田 久

新年明けましておめでとうございます。

北海道医師会の皆様には日頃から、本道の保健医療福祉行政の推進にあたり、深いご理解と温かいご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、わが国においては、TPP交渉への参加や消費税増税に関する問題、近隣諸国との外交問題など、国の社会経済環境が大きく揺れ動いた一年でありました。

また、アベノミクスにより日本経済が回復傾向にあると評価される一方、道内においては依然として厳しい経済情勢が続く、医療の分野においても、地域において中心的な役割を担う医療機関の医師不足が深刻化し、病院の存続や一部診療科の継続が困難になるなど、道民の皆様の暮らしを守るという使命において、多くの課題に直面した一年でありました。

本道においては、都市部への人口集中や高齢化が急速に進んでおり、道内の高齢化率(65歳以上の人口比率)は、いわゆる「団塊の世代」が75歳以上となる2025年には、34%になると見込まれており、医療資源や福祉サービスの地域偏在に加え、急速な高齢化や慢性疾患患者の増加、核家族化や価値観の多様化など、さまざまな面で広域分散型社会を形成している本道の医療や福祉を取り巻く環境が大きく変化してきています。

このような中、国では、病床機能情報の報告制度の導入や地域医療ビジョンの策定など、さまざまな社会保障制度改革が進められようとしています。

道といたしましては、急速な高齢化に対応した地域医療提供体制を構築するためには、病床の機能分化や医療と介護の連携を一層促進することが重要であると認識しており、関係機関・団体や医育大学と連携しながら対応したいと考えています。

また、こうした状況変化に対応するため、昨年3月、策定から5年が経過した北海道医療計画の改訂を行い、近年患者数が急増している精神疾患を加えた5疾病と5事業(救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療)と在宅医療の推進を盛り込んだ計画を策定し、地域医療提供体制の充実強化に取り組んでいるところです。

この計画の改訂にあたりましては、北海道医師会ならびに郡市医師会の多くの皆様に中心的な役割を

果たしていただきましたことに、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

道においては、山積する地域医療課題の解決に向けてさまざまな施策に取り組んでいるところでありますが、中でも医師の不足や地域偏在解消については、道政上の最重要課題として位置付けており、これまで、即効性のある対策として、北海道医師会や北海道病院協会、医育大学のご協力のもとに「緊急臨時的医師派遣事業」などの地域への医師の派遣に取り組んできたところです。

平成24年度からは、こうした取り組みに加え将来を見据えた施策として、北海道医師会の全面的なご協力のもと、中学生や小学生を対象とした医療体験学習会を開催する「地域医療を担う青少年育成事業」にも取り組んでおり、昨年は、黒松内町をはじめ4町において開催したところです。

また、昨年は、女性医師の出産・育児に伴う離職防止や再就業の促進を図るため、「女性医師等就労支援普及啓発事業」を実施し、全道フォーラムの開催や広報事業にも取り組んでいるところであり、今後とも、地域に必要な医師を確保するために、幅広くさまざまな医師確保対策に取り組んでまいりたいと考えています。

さらに、広大な面積を有し医療資源の地域偏在が著しい本道において、救急医療体制を整備することは重要であり、ドクターヘリは人命救助に大変効果的なため、これまで、道央、道北、道東圏に3機のドクターヘリを導入してきたところですが、未整備圏域の道南圏において、昨年、地域合意が得られたことから、4機目となるドクターヘリの導入に向けて調整を行い、一人でも多くの尊い命を救える救急医療体制の整備に努めてまいる考えであります。

道といたしましては、今後とも、道民の皆様が住み慣れた地域の中で、安心して健やかに暮らし続けることができるよう、第一線でご活躍されている皆様方との連携をより一層深めながら、地域医療の確保に積極的に取り組んでまいりますので、引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、本年が皆様にとって幸多い一年となりますことを心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とします。

# 謹 賀 新 年

2014年 元 旦

## 北 海 道 医 師 会

会 長	長 瀬 清	常任理事	伊 藤 利 道	理 事	堀 修 司
副 会 長	深 澤 雅 則	"	生 駒 一 憲	"	齋 藤 孝 次
"	藤 原 秀 俊	"	後 藤 聰	"	飯 塚 一
"	小 熊 豊	"	林 宏 一	監 事	水 元 修 治
常任理事	北 野 明 宣	"	笹 本 洋 一	"	中 村 興 治
"	渡 邊 直 樹	理 事	松 家 治 道	"	大 口 正 樹
"	三 戸 和 昭	"	齋 藤 洌	参 与	中 川 俊 男
"	目 黒 順 一	"	恩 村 宏 樹	"	三 宅 直 樹
"	藤 井 美 穂	"	津 田 哲 哉	"	宮 本 慎 一
"	橋 本 洋 一	"	沖 一 郎	代 議 員 会 長	本 間 哲
"	水 谷 匡 宏	"	倉 増 秀 昭	代 議 員 会 長 副	稲 川 昭
"	山 科 賢 児	"	山 下 裕 久	事 務 局 長	安 達 督
"	岡 部 實 裕	"	古 屋 聖 児		他 職 員 一 同

# 謹 賀 新 年

2014年 元 旦

## 北 海 道 医 師 国 民 健 康 保 險 組 合

理 事 長	赤 倉 昌 巳	理 事	松 家 治 道	組 合 会 長	山 本 秀 樹
副 理 事 長	長 瀬 清	"	山 下 裕 久	組 合 会 長 副	佐 藤 信 清
常 務 理 事	畑 俊 一	"	今 眞 人	事 務 長	本 田 明
"	堀 江 洋 三	監 事	津 田 哲 哉		他 職 員 一 同
理 事	中 村 興 治	"	上 西 仁		
"	城 守				